

平成22年3月

博多港中央航路拡幅・浚渫整備に伴う船舶航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

本委員会では、博多港中央航路拡幅・浚渫整備工事中における航行船舶および工事作業従事船舶の航行安全対策について調査・検討した。

多くの入出港船舶の安全な通航を確保しつつ、効率的な整備工事を実施していくためには、種々の困難が伴い又それに対する工夫を要することから、調査検討にあたっては、磁気探査・潜水探査作業及び航路拡幅・浚渫工事の施工計画を基に、航行環境、通航船舶と可航水域の関係を整理して課題を抽出し、安全性の検討を行った。そのうえで、浚渫船の退避が必要となる対象船舶、可航水域における一般船舶の通航方法、航路標識の一時移設等について検討を行い、必要な航行安全対策を取りまとめた。

なお、整備工事施工に際しては、一般の航行船舶及び工事作業船の安全確保において、安全管理体制の確立、土運船の安全管理、警戒管理及び情報の円滑な提供並びに事前の周知・広報が特に重要となることから、本報告書を基に関係者間の連絡調整と相互理解を十分に図り、長期にわたる工事作業期間中、船舶航行の安全を確保するよう提言した。

2 調査等概要

- (1) 調査計画
- (2) 中央航路拡幅整備事業の概要
- (3) 博多港および周辺海域の現況
- (4) 航路整備に伴う船舶航行の安全性に関する検討課題
- (6) 航路整備に伴う船舶航行の安全性の検討
- (7) 航行安全対策